



徳山大学広報

何かに“いちばん”の自分がある

学園台の風

第 55 号

平成 21 年 6 月 1 日 発行

< 学生生活のいま >

経済学部経済学科 4 年

中武 亮 さん (福岡県筑陽学園高等学校出身)

中国 6 大学野球春季リーグで念願の優勝を果たすことができました。優勝が決まった瞬間、涙が溢れてきました。全国大会では、主将としての責任をまっとうできるように、さらに一段強い気持ちで、臨んでいきたいと思っています。



徳山大学

撮影・編集 中村道陽

山口県周南市学園台

TEL 0834-28-0411 (代)

オバマの一言と 障害者の人権

小池 桂

昨年11月のオバマの勝利に終わったアメリカ大統領選挙はとても興味深いものでした。それはアメリカ史上初めてのアフリカ系大統領の誕生であり、40数年前に身を賭して黒人解放運動を指導したキング牧師が蒔いた種が、ようやく芽から花開いたかのようでした。

しかし私が何よりも感銘を受けたのは、オバマがこの選挙結果をふり返って「黒人も白人も、同性愛者もそうでない人も、障害者も障害のない人も、すべてが出した答えだ」(二〇〇八年十一月五日オバマ勝利演説)と気負うことなく述べたことにあります。「ああ、そうなのだ。この国では障害者も障害のない者と同じように社会の一員として等しく尊重され政治に参加できるのだ。障害者もまた民主社会の担い手なのだ」。こんなことをオバマのさりげない一言から感じたのでした。

と同時に、この一言から嫌がおうにも私たちの国の福祉のあり方にも目を向けずにはいられません。障害者を社会の担い手として尊重する政治家が私たちの国にどれほどいるでしょうか。選挙時にはお題目のように“福祉の充実”を唱える政治家は多いですが、そこには障害者を対

等の存在として尊ぶのではなく、弱者保護という発想が強く流れているように思えます。一人一人の人権を尊び、それを全ての人に等しく保障しようとする近代的な理念からはあえて遠く離れたところで福祉を形づくってきたわが国にあって、障害者は障害のない者とは別世界に住むかわいそうな人々とみなされてきたのではないのでしょうか。

かくいう私自身がオバマの一言に感銘を受けたのも、おそらく、いや確実にこうした障害者観がどこかに潜んでいたからにほかなりません。ノーマライゼーションやバリアフリーといった言葉には馴染んできたつもりでも、障害者が障害のない者と同じように社会に参加する光景は、私の中ではまだまだ「当たり前」ではなかったのです。

もっとも障害者の人権をめぐる国内外の動向には注目すべき動きも現れてきています。弱者一



辺倒に描かれてきた従来の障害者像に一石を投じた乙武洋匡『五体不満足』(講談社、一九九八)がベストセラーになったことは記憶に新しいですし、障害者の人権保障を求める運動も徐々に広がってきています。そして何よりも画期的な出来事は、二〇

〇六年12月に国連で障害者の権利条約が採択されたことです。わが国には障害者の人権保障を包括的に定めた法律はありません。今回、採択された権利条約ではすべての障害者の人権と基本的自由の確保、そして尊厳を尊重することが謳われました(同一条)。日本政府はこの条約に基づいて国内法を整備しなければなりません。

障害者が他と同じように社会の担い手になることは当然の権利であり、それを保障するためにはこうした条約や法令の整備が不可欠です。しかし、それだけではオバマの一言に示されたような障害者の参加が当たり前となる社会は実現しません。大切なことは障害者の権利条約の精神を、いかに日常生活の中で根づかせてゆくのかという点にあり、結局それは私たち一人一人にかかっているように思います。Yes we can!



小池 桂 (こいけ かつら) 准教授

2007年4月から徳山大学福祉情報学部准教授に就任。専門は社会福祉の歴史と思想。日本社会福祉学会、社会事業史学会に所属。主な著書として『占領期社会事業従事者養成とケースワーク』学術出版会 2007

クラブ活動情報



大学スポーツは春季大会が各地区で行われ、熱戦が繰り広げられました。本学の学生の健闘の様子をお伝えします。

【アーチERY部】中国四国大会で個人優勝

今年から本格始動開始のアーチERY部は、5月5日群馬国際フィールドアーチERY場で行われました全日本フィールドアーチERY選手権大会において、リカーブ男子の部で、主将の大迫聖也選手(2年)が6位で入賞、リカーブ女子の部で笠原智穂選手(1年)が9位となりました。また、5月17日に山口県周防大島町で行われた、中国四国アーチERY学生王座決定戦個人の部において、女子の部で笠原智穂さんが優勝、男子の部で大迫聖也君が3位に入賞しました。

【剣道部】全国大会へ2名出場

これまでも全国大会で入賞実績のある剣道部は、5月16日(土)17日(日)、香川県高松市で行われた中国四国学生剣道選手権大会で、男子2名の学生が上位に入賞し、全国大会への出場権を獲得しました。全国大会への出場権を獲得したのは、高木昌累君(4年)と占部龍一郎君(3年)の2名です。二人は二五六名の出場選手の中でベスト16に入り、7月に大阪府立体育館で開催予定の全日本学生剣道選手権大会に出場します。全国大会で、さらなる活躍を期待したいと思います。

【硬式野球部】全日本大学野球選手権大会へ出場

中国六大学春季リーグは5月18日倉敷マスカット球場にて最終戦が行われました。本学野球部は東亜大学と対戦し岡村投手の好投に打線も奮起し、4対2で見事勝利をあげ優勝、6月8日より東京ドーム・神宮球場にて行われる全日本大学野球選手権への出場となりました。本学チームは6月8日東京ドームで行われる1回戦第4試合で北東北大学代表と対戦します。なお、中国6大学野球春季リーグにおいて、次の選手が今大会で表彰を受けました。



- 最高殊勲選手賞 坂野良輔(3年)
- ベストナイン 投手 岡村孝政(3年)
- 2塁手 中村慎哉(3年)
- 3塁手 岸村祥太郎(4年)
- 遊撃手 長嶺成宏(2年)
- 外野手 中武亮(4年)
- 立野陽政(3年)

【ゴルフ部】中四国大会準備

平成21年度中四国学生ゴルフ春季1部校対抗戦が4月23日24日の2日間広島県の賀茂カントリークラブで開催されました。1日目を2位で折り返し、そのままコンディションを崩すことなく、2日目を終え、準優勝となりました。この結果、6月に北海道で行われる全国大学ゴルフ対抗戦の出場権を獲得しました。



【バスケットボール部】中国大会で男子優勝女子2位

5月2日より5日まで岡山県笠岡市で行われた中国大学バスケットボール選手権春季優勝大会において、左記の結果となり、男子が優勝、女子が準優勝しました。

- 男子 1位 4位決定リーグ徳山大 86 - 60 広島修道大
- 徳山大 119 - 75 環太平洋大徳山大 89 - 80 倉敷芸術科学大
- 最優秀選手賞 寺岡侑哉(4年)
- 得点王 江上洋之(3年)
- 女子 1位 4位決定リーグ徳山大 75 - 63 広島大
- 徳山大 62 - 73 環太平洋大徳山大 57 - 56 倉敷芸術科学大
- 敢闘賞 市川敬子(4年)

【陸上競技部】中四国大会フィールドの部で男女総合優勝

5月15日から17日、鳥取市のコカ・ウエストスポーツパーク陸上競技場で中国四国学生陸上競技対校選手権が行われました。本学陸上競技部は、フィールドの部において悲願の男女アベック総合優勝を果たしました。各個人においては投擲、跳躍種目で合計六種目において優勝を飾りました。

- 各個人のおもな優勝者は次のとおりです。
 - ◆伊藤 遼 (男子ハンマー投げ: 4年)
 - ◆千々木 優 (男子円盤投げ: 4年)
 - ◆加藤 洋平 (男子走り高跳び: 4年)
 - ◆富田江里奈 (女子ハンマー投げ、女子砲丸投げ: 3年)
 - ◆木下 亜里沙 (女子円盤投げ: 3年)
- 彼らは、9月に行われる全日本インカレの出場が決定しました。この他にもトラック競技などでのべ21名の学生が入賞を果たしました。

創立者高村坂彦先生と松下村塾模築

徳山大学創立者高村坂彦先生は、衆議院議員として国事に奔走されていましたが、徳山市に日本一の理想都市を建設したいと夢を描き、徳山市長となりました。昭和40年代の初め、全国で学園紛争が相次ぎ、高村市長は大学教育の理想を実現するため、地方で安心して学問できる大学づくりを目指し、「公正な社会観と正しい倫理観の確立」を基に「知識とともに魂の教育を重視した人間形成の道場」と云うべき大学の建学を念願し、さきがけの公設民営の大学として、昭和46年、徳山大学を設立されました。

開学20年の節目には、創設者の尊敬する山口県の教育者である吉田松陰先生の主宰された「松下村塾」の模築を学内に置き、現在模築は、一般公開もされています。この模築の傍らにいますと、松陰先生の言葉にもじり「徳山大学小なりといえども、誓って日本の大学のモデルとならん」と言われていた創立者の言葉が、よみがえってくるような思いがします。



チャレンジキャンパス スタート!



5月23日(土)本年度第1回目のチャレンジキャンパスが行われました。チャレンジキャンパスは、知財開発(マンガ・アニメ・造形)コースの魅力についてご紹介するミニオープンキャンパスです。この日は、なかはらかぜ先生を中心に、「マンガ大好き人間集合」というテーマで、先生直筆の原画を公開しながら行われました。次回は6月20日(土)に開催されます。

レスリング世界大会へ出場決定!

写真右より
西木選手
稲富選手



4月25日26日横浜文化体育館で開催された全日本ジュニアレスリング選手権大会においてグレコローマンスタイル120kg級で**西木亨選手(3年)**が優勝、8月にトルコ共和国で行われる2009ジュニア世界選手権大会への出場を決めました。また、同大会グレコローマンスタイル96kg級で**稲富康介選手(3年)**が3位となりました。

オープンキャンパス2009

7月11日(土) 10:30~開催

学部学科説明・学内見学ほか充実の内容です。昼食も無料をご用意しています。保護者の皆様も一緒にお越しください。



徳山大学の気持ちのいい学生スタッフが皆さんをご案内します。学生とのふれあいも楽しみにして、お越しください!